

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

令和4年3月19日公表

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					法令の基準は満たしております。新事業所へと移転し、活動スペースにゆとりをもつことが出来ました。2 部屋を有効に活用しております。またパーテーションやマットなどで視覚的にわかりやすい空間を作り、活動しやすう配慮しています。今後も児童の目線で「わかりやすい、過ごしやすい空間」を心掛けていきたいと思ひます。レイアウトは適宜変更をおこない、利用児童が快適に過ごせるように心がけ、今後、配慮が必要な児童の利用があった場合は工夫や配慮をおこなってまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか				2		法令で定められた基準で児童発達支援管理者、児童指導員で構成しております。今後は様々なニーズに応えられるよう保育士、専門的職員の配置も図ってまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1			1		各エリアにはその場所の活用方法を表すようなわかりやすい表示がされています。教室内はほぼフラットですが、一か所段差があり、また玄関先にも段差があり、職員の介助や声掛け、張り紙などの注意喚起で、その場でできるだけの対応をとり、危険防止に努めております。今後配慮の必要な児童の利用があれば、段差の解消や手すりなどの検討、設置も考えていきたいと思ひます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	1			1		毎日の清掃に加え、感染対策のため、車両や教室内の消毒は徹底しています。児童の活動にあわせた目線や危険な箇所はないか、また不都合なところははないか等点検をおこない、常に点検をおこない、修繕や改良に努めております。今後も衛生管理を徹底し、場面に応じた活動がスムーズに安全におこなえるように環境を維持してまいります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iが作成されているか	1			1		初回面接時には、特に保護者様に丁寧に聴き取りをおこない、アセスメントを実施しております。また保護者様からはお困りことやニーズなどもお聞きし、それらを反映した計画案を作成しております。利用児童のことを広く知るためにもまた主観的な考えを選び、児童を取り巻く方々(以前利用していた事業所や園、関係機関等)からも広く情報を集め、支援計画に活かしています。また利用開始後に利用児童の現段階の状況も見逃すことなく話し合い、より良い支援がおこなえるようにしております。一人ひとりの特性に合わせた内容やご希望等を組み込み、それに応じて個別活動・集団活動も取り入れた内容を入れ、児童発達支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			1		保護者様のご意向や利用児童の特性を十分考慮し、適切な項目を選択できるように努めております。また、様々な情報も加味したうえで、児童発達支援ガイドラインを踏まえ、計画の充実を図り、具体的な支援内容の設定をおこなっています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1			1		保護者様からのニーズを把握したうえで利用児童への直接支援は支援計画に沿っておこなわれるように支援会議で共通認識、共通理解を図っております。また、統一した支援が出来るよう、利用児童の状況に合わせた具体的な支援内容の検討や変更を随時おこなっております。
	8 活動プログラムiiが固定化しないよう工夫されているか	1			1		COMPASS では学習を中心とした様々なプログラムをおこなっております。学習では一人ひとりのコミュニケーション能力の向上のためソーシャルスキルトレーニングも合わせておこない、また、毎月学習到達度を見る記録や発表の場、季節に応じた製作活動、レクリエーションなども取り入れ、固定化せず、飽きさせることの無いように工夫しております。今後も、利用児童一人ひとりの発達段階に合わせて学べるプログラム、季節に合わせた行事などもおこなってまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				2		在籍している児童は現在、幼稚園やこども園の利用をしており、障がいのないこどもたちとの交流や活動をおこなっております。コロナ禍の感染症防止の観点から、保育所や認定こども園、幼稚園との交流や活動はできておりません。新型コロナウイルス感染症流行が収束すれば、同世代のこどもとの交流として近隣の保育所や認定こども園との交流を検討してまいります。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					利用契約時には各書面において丁寧な説明に努めております。運営規程は事業所入口付近に掲示をし、利用負担額等の変更もその都度説明しております。支援内容についての要望については随時お受けしております。今後も契約時はもちろん必要に応じて保護者様が安心してご利用いただけるよう丁寧に説明してまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」に沿い、保護者様のご意向をお聞きしております。ガイドラインを踏まえ、保護者様のご意向や児童の特性を理解しながら必要とする支援に対してしっかりと狙いを定め、適切な支援内容を定め作成しています。また保護者様へ支援計画の内容を示す際には、専門用語は避け、丁寧な説明に努めています。今後も保護者様のご意向や児童の状況に応じた支援計画を作成し、丁寧にわかりやすい説明に努めてまいります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiii等)が行われているか	1			1		保護者様への対応力の向上の手段として、法人で配信している療育動画視聴をお勧めしております。専門的な観点からは発達支援相談会やセミナー、研修会等の情報も必要に応じて発信しております。YouTube のドキュメント動画では、リアルタイムで同じ様なお悩みを持つ保護者様と児童の姿や等身大のインタビューを通して、課題やその解決策等を発信したり、手遊び歌やペープサートなど、ご家庭でも役立つ、楽しめる内容となっております。今後動画のみならず、職員からも適切な助言ができるよう日々研鑽に努めてまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1			1		児童のその日の様子などを連絡帳にてお知らせしております。またご家庭への送迎時には、より詳しい説明に努め、お悩みやお困りごと、ご相談等を受けております。一人ひとりの児童や、保護者様に寄り添いながら、課題の情報共有や共通理解に努め、特に何かある場合だけでなくご家庭での状況の聴き取りや、連絡帳でCOMPASS での様子やお迎え時の様子、職員からの報告なども細かくお伝えしております。「今何に困っているのか?」や「どれだけ上手にできるようになったか?」などマイナス面ばかりではなく、プラス要素も織り交ぜながらご説明し児童の「今の姿」をお伝えしてまいります。
保護者への説明等	14 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか				2		保護者様からの子育てに関するご質問やお悩みに関しては随時丁寧にお聞きし、対応に努めています。モニタリング時だけではなく、日頃の何気ない会話の中からもお困りごとやお悩みの相談をお受けしています。また事業所に来所していただくだけではなくご家庭への訪問など保護者様のご都合の良い場所へ向向き子育て等の相談を承っております。あせらずゆっくりとお話が出来る環境を整えられるように心掛けております。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の携が支援されているか				2		現在コロナ禍にあるため、残念ながら開催出来ておりません。状況が改善された際には、保護者様同士の「横の繋がり」をより深められるように努めてまいります。子育ての情報交換の場としても大いに利用していただける事業所でありたいと思ひ、状況が改善されれば、万全の準備をして皆様をお待ちいたします。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか				2		苦情受付窓口担当と苦情解決責任者の2名を配置し、速やかに対応できるように図っております。利用契約時には重要事項説明書にて事業所窓口だけでなく、行政機関や福岡県運営適正化委員会の窓口設置の情報もお伝えしています。保護者様からの苦情はもちろん、ほんの些細なご意見に対しても真摯に受け止め、対応に努めております。またいつでもご相談をお受けできる体制として、直通的の携帯電話も携行しております。今後も保護者様からのご相談等には丁寧に丁寧に対応してまいります。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1				保護者様には、専門的な用語を多用するのではなく、身近な言葉でお話をし伝え、利用児童には一人ひとりの特性に応じたわかりやすい表現で伝達するようにしております。必要であれば非言語でのコミュニケーション(絵カードやジェスチャーなど)を用いて意思疎通を図っております。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1		公式 Web サイトのブログで日々の活動の様子を発信しています。また、今期より COMPASS だよりに加え、事業所だよりを「こどもカレンダー」と名称を変え、日常の様子や行事、その他の情報等も細やかに発信しております。今後も保護者様へ児童の様子や役立つ情報を定期的に発信してまいります。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	2					個人情報については特に慎重に取り扱いをしております。厳重に保管・施錠し、持ち出しはしないことを徹底しております。また、職員には就業規則に則り守秘義務を遵守するように徹底しております。個人情報の取扱いには、今後も十分に配慮してまいります。
	非常時の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2				
21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか					2		いつ起きるかわからない災害に備えて訓練を実施しております。火災、風水害、地震、不審者対応と4回実施し児童にも座学でのわかりやすい学習も提供しています。今後も防災意識を高めるために、必要な研修会への参加や訓練を実施してまいります。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	2					利用児童が「楽しく、通いたい」と思える事業所を目指し日々研鑽を重ねております。職員の資質向上、創意工夫を施した活動内容、安心安全な環境を今後も提供してまいります。
	23 事業所の支援に満足しているか	2					コロナ禍の現在、制約が多く利用児童及び保護者様におかれましてはご理解やご協力を賜り感謝申し上げます。また、そのような状況下でも事業所の支援にご理解いただき、職員一同の糧となっております。今後は評価に甘んじることなく、より一層気を引き締め、より良い環境と療育を目指し「児童と保護者様にとって最善とは何か?」を常に模索しながら、「選ばれる事業所」づくりに精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。